

防火の意識を引き継ぐ 長島小少年消防クラブ退団式

長島小学校児童で組織する長島少年消防クラブの退団式が2月9日、同校で行われました。式には退団する6年生13人を含む全校児童と教職員、地域の消防関係者らが出席。

団長の佐々木海真さんが、これまでの活動を振り返るとともに「自分たちは退団しますが、皆さんにはこれからもクラブの一員として火の用心を心掛けてほしい」とあいさつ。団旗の引き継ぎを受けた新団長の小野寺柊太さんは「これからも火の用心に努めます」と誓いました。



世界に1つだけの椅子を作る 平泉ライオンズクラブ親子工作教室

2月5日、平泉ライオンズクラブが主催する「親子工作教室」が二葉さきり園で行われました。参加者たちは、平泉ライオンズクラブメンバーの指導のもと、親子で協力しながら楽しく椅子づくりに取り組んでいました。

同クラブ加藤弘之会長は「親と子の触れ合いの場を提供したいと考え、今回の教室を開催した。園児たちが世界に1つだけの自分の椅子を喜んでくれてうれしい。今後も継続していきたい」と話していました。



観光資源「平泉」について考える 世界遺産シンポジウム

世界遺産シンポジウム「平泉の魅力—その歴史と未来」(世界遺産連携推進実行委員会主催)が2月14日、平泉文化遺産センターで開催されました。

東洋文化研究者で伝統家屋の修築保存活動を手掛けるアレックス・カーさんの基調講演やパネルディスカッションを通じて、世界遺産平泉の魅力や現状の課題を今後どのように解決していくか意見を交わし、観光資源・経済的資源「平泉」の活用方法について考えていました。



スマホゲームで町内を遊ぶ 町内で初のインGRESイベント開催

スマートフォンの位置情報をもとに陣取り合戦を繰り広げるゲーム「Ingress(インGRES)」のイベントが2月6日、町内で初めて開催されました。県内外から訪れた約50人の参加者は思い思いのペースで、ゲームと世界遺産平泉のまち歩きを楽しんでいました。

主催者である町を元気にし隊佐々木久美代表は「町内を歩いて巡ることで、平泉をもっと知ってほしい。今後もインGRESのイベントを企画していきたい」と話していました。

多彩な演目で観客を魅了 芸術文化祭舞台部門発表会

町芸術文化協会(浅利和昭会長)主催の芸術文化祭舞台発表部門が2月20日、平泉小学校体育館で開催されました。

日ごろから舞踊や民謡、三味線などに取り組んでいる14団体が多彩な演目を披露。また特別出演の井上ゆかりさんによる歌謡ショーが行われ、館内に歌声が響き渡りました。

ステージ上で繰り広げられる出演者の素晴らしい発表に、会場に詰めかけた観客からは大きな拍手と声援が送られていました。



幸福願い元気に豆まき! 中尊寺節分会

中尊寺で2月6日、大相撲八角部屋の隠岐の海関を招いて、恒例の「中尊寺節分会」が行われました。

豆まきには隠岐の海関のほか町内外から袴に身を包んだ厄年男女、年男、年女ら78人が参加。「福は内、鬼は外」の勇ましい掛け声とともに豆がまかれると、境内に詰めかけた町民や観光客らは縁起のいい豆を拾い集めていました。

また、町内の幼稚園や保育所園児による豆まきや抽選会も行われ、にぎやかな歓声が響き渡っていました。



日本の伝統文化を気軽に体験 ひらいずみ和縁日

2月21日、ひらいずみ和縁日(平泉を遊縁地にする会主催)が旅館アイリス悠を会場に開かれました。

参加者たちは琴や三味線、着物など興味のある日本の伝統文化を体験し、楽しく学んでいました。

平泉を遊縁地にする会の菅原さや香さんは「琴や着物など興味はあったけど一歩踏み出せなかった人たちが、今日のイベントをきっかけに日本文化をより身近に感じてもらえたいです」と話していました。



1_勇ましい掛け声とともに威勢よく豆をまく参加者たち/2_大相撲八角部屋の隠岐の海関/3_笑顔で豆をまく園児たち/4_会場には多くの町民や観光客が詰めかけた